旭ヶ丘キリストの教会
主日礼拝順序
２０２０年１１月１日

司会：千田俊昭
奏楽：千田祥子

黙　　祷		一　同
讃　　美※	Ⅱ讃美歌191「主のまことは」	一　同
主の祈り※	（聖歌表扉または讃美歌564番をご覧ください）	
讃　　美	讃美歌511「みゆるしあらずば」	一　同
教会学校	紙芝居「みんなでピクニック」	牧　師
讃　　美	讃美歌508「主よ日に日に」	一　同
聖書朗読	ヨハネ20:24-31	
奨　　励	ヨハネ伝の福音(第71回)	牧　師
主　　題	**「わが主、わが神」**	
讃　　美	讃美歌243「あぁ、主のひとみ」	一　同
献　　金	献金と感謝の祈り	
聖　　餐		
頌　　栄※	讃美歌546「聖なるかな」	一　同
祝　　祷※		牧　師
来週の箇所	ダニエル書第５章	

※印のところでは御起立下さい。

☆　はじめて集会においでの皆様。心から喜び、感謝してお迎え申しあげます。しかし、初めての方に無理な勧誘をするようなことは、一切いたしません。むしろ、そっとしておきたいと思うわけです。その態度を冷淡や不親切と誤解なさらないで下さい。
☆　私たちは何派にも属さないクリスチャン個人の自由な交わりの教会です。聖書を学び、キリストに信頼し、キリストが与えてくださる神の義を何より大事にし、信じる者同志が兄弟姉妹として受け入れ合う群れです。
☆　献金は神への感謝として、各自が自由意志で行うものです（２ｺﾘﾝﾄ9:7）。入り口に献金箱がありますので、どうぞご利用下さい。
☆　キリスト教について、あるいはどんな質問でも、いつでも遠慮なく牧師にご相談下さい。
☆　第二礼拝後、軽食を用意してありますので、お時間のある方はどなたでも、ご自由にお召し上がり下さい。
☆　二階に教会図書がありますので、どうぞご利用下さい。

旭ヶ丘キリストの教会　ニュース

《今週の歩み》
11/１（日）聖日礼拝
　/２（月）
　/３（火）（文化の日）
　/４（水）14:牧師祈り会(上杉)
　/５（木）10:00聖研
　/６（金）
　/７（土）13-16子供ｵｰﾌﾟﾝﾊｳｽ

《祈りの課題》
①コロナ禍の速やかな終息のために
②礼拝に来れなかった人々のために
③教会学校の子供たちも救われますように

良書ハイライト

「インドに行った使徒トマス」

「使徒ユダ・トマスの行伝」(講談社学芸文庫,1997)より

その頃、私ども使徒は皆エルサレムにいた。ペトロ、アンデレ、ヤコブ、ヨハネ、ピリポ、バルトロマイ、トマス、マタイ、アルパヨの子ヤコブ、熱心党のシモン、ヤコブの子ユダである。そして私どもは全世界の諸地域を分割し、各自に籤で当たった地域と、主が各自を遣わされた国民のもとに行くことにした。さて籤引きの結果、インドがデドモ(双子)とも呼ばれるユダ・トマスに当たった。しかし彼は出て行くことを欲しなかった。彼は、身体が弱いので旅をすることができないと言い、また、ヘブル人である私がどうしてインドに行きインド人に真理を述べ伝えることが出来ようかと言ったのである。ところがこの夜、救い主が彼に現われ、彼に言った。『恐れるな、トマスよ。インドに行き、そこで御言葉を宣べ伝えよ。私の恵みが汝と共にあるのだから』。しかし彼は従わずに言った、『あなたが遣わそうと思われる所に私を遣わしてください。しかし、他の所に！私はインド人の所には行かないのですから。』

彼がこのように言い、思案していた時に、たまたま、インドからやってきた名をハバンという商人がその地にいた。彼はグンダフォロス王から遣わされ、大工を購って王のもとに連れてくるようにという命令を受けていたのである。さて、主は正午ごろ彼が町の広場アゴラを歩いているのをご覧になって彼に言われた。『大工を買いたいのですか？』彼は主に言った。『はい、そうです。』すると、主は彼に言われた。『私が大工の奴隷を持っています。それを売りたいのです。』主はこう言われて、彼にトマスを遠くから示され、刻印のない銀三リトラで彼と取り引きされ、次のような証書を書かれた。『私、大工ヨゼフの子イエスは、貴殿インド人の王グンダフォロスの商人ハバンに、名をユダという私の奴隷を売ったことを誓約します。』

そして、証書を書き終えると救い主はトマスとも呼ばれるユダを商人ハバンのもとにつれてきた。するとハバンはユダをみて彼に言った。『この人がお前の主人か』使徒が答えて言った『はい、このかたが私の主です』。ハバンがユダに言った、『私がお前をこの人から買った。』するとユダは黙ってしまった。

翌朝、使徒は祈り、主に願って言った。『主イエスよ、あなたの欲するところに参ります。あなたの御旨が行われますように』こうして彼は商人ハバンのもとに行ったが、支払われた自分の代金以外は何も携えていなかった。主が彼にそれを与え、次のように言われたからである。『お前がどこに行ってもわたしの恵みと共にお前の代金もお前と共にあるように！』こうしてトマスはインドに行った。